



長浜のよさこいを全国に伝えたい

サウンドクリエイター
坂本 真一さん（列見町）

撮影場所：制作スタジオ（新庄中町）

「貯めたお年玉で、プロ用のシンセサイザーを買いました。自分で買った初めてのもの」と振り返る坂本真一さん。輝かしい成績を残していた陸上競技の道ではなく、サウンドクリエイターになることを直感的に決意した16歳の冬のこと。

17歳で地元の劇団に楽曲を提供、21歳で友人らと音楽制作会社を設立するもすぐに独立。現在主宰しているよさこいライブ「飛翔」を興します。

全国でも類を見ない「生演奏でよさこいステージを創る」という発想を実現するには、坂本さんが持つ技術と地域内の仲間の協力が不可欠。「自分にしかできなかった」と自負しながらも、「一人が先頭に立つのではなく、みんなで長浜を

盛り上げたい」と、今ではイベントを側面から支えます。

生業の楽曲制作では、イベント会社やミュージシャンなどから幅広く依頼があり、よさこいチームへの提供はなんと約50曲。しかも、一度坂本さんに依頼したチームはリピート率100%だそう。喜ばれる楽曲を作る秘訣は“ひざを突き合わせて話す”こと。「表情を見れば求めているものや思いが伝わる」。依頼主と話し込んで創ったイメージどおりの演奏を見ると、喜びもひとしおだといいます。

坂本さんの目標は2つ。1つは、自身が筆頭を務める、よさこい楽曲制作集団『渡』の本格始動。車に楽曲制作のシステムを搭載して依頼主に会いに行き、そ

の場で楽曲を作ること。まさに“音楽の移動販売”。「よさこいの楽曲制作を通じ、文字どおり渡り鳥のように全国を渡りたい」と今年中の稼働を目指します。

もう1つは、「飛翔」をさらにレベルの高いエンターテインメントに育てること。

「長浜発祥のオリジナルのよさこいを。目指すレベルはシルク・ドゥ・ソレイユや劇団四季」と表情を引き締めます。

「技術は常に人のためにある」——自分の技量を高め、それを誰かの笑顔につなげたいという思いから発せられたその言葉には、技術に裏打ちされた自信が窺えます。

夢の実現に向け、希望に燃える坂本さんから目が離せません。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。
笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。
掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。

生まれてきてくれてありがとう。みんな奏太のことが大好きだよ。これからも笑顔いっぱい元気いっぱい大きくなつてね！



中村 奏太ちゃん（平成26年12月生まれ）
（宮司町）

箕浦 諒ちゃん（平成25年8月生まれ）
姫菜ちゃん（平成27年1月生まれ）
（二の宮町）



いつも可愛い笑顔がありがとう。大好きな諒といつまでも仲良く、笑顔いっぱい、元気いっぱい育ててね。

まちの人口	平成27年12月1日現在	人口 121,080 人	男 59,198 人	女 61,882 人	世帯数 44,761 世帯
	平成27年11月中の異動	転入 191 人	転出 276 人	出生 72 人	死亡 116 人 婚姻 64 件



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の人は市民広報課まで。